

# 漁海況情報

第548号 (平成30年2月9日)

発行: 山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594  
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

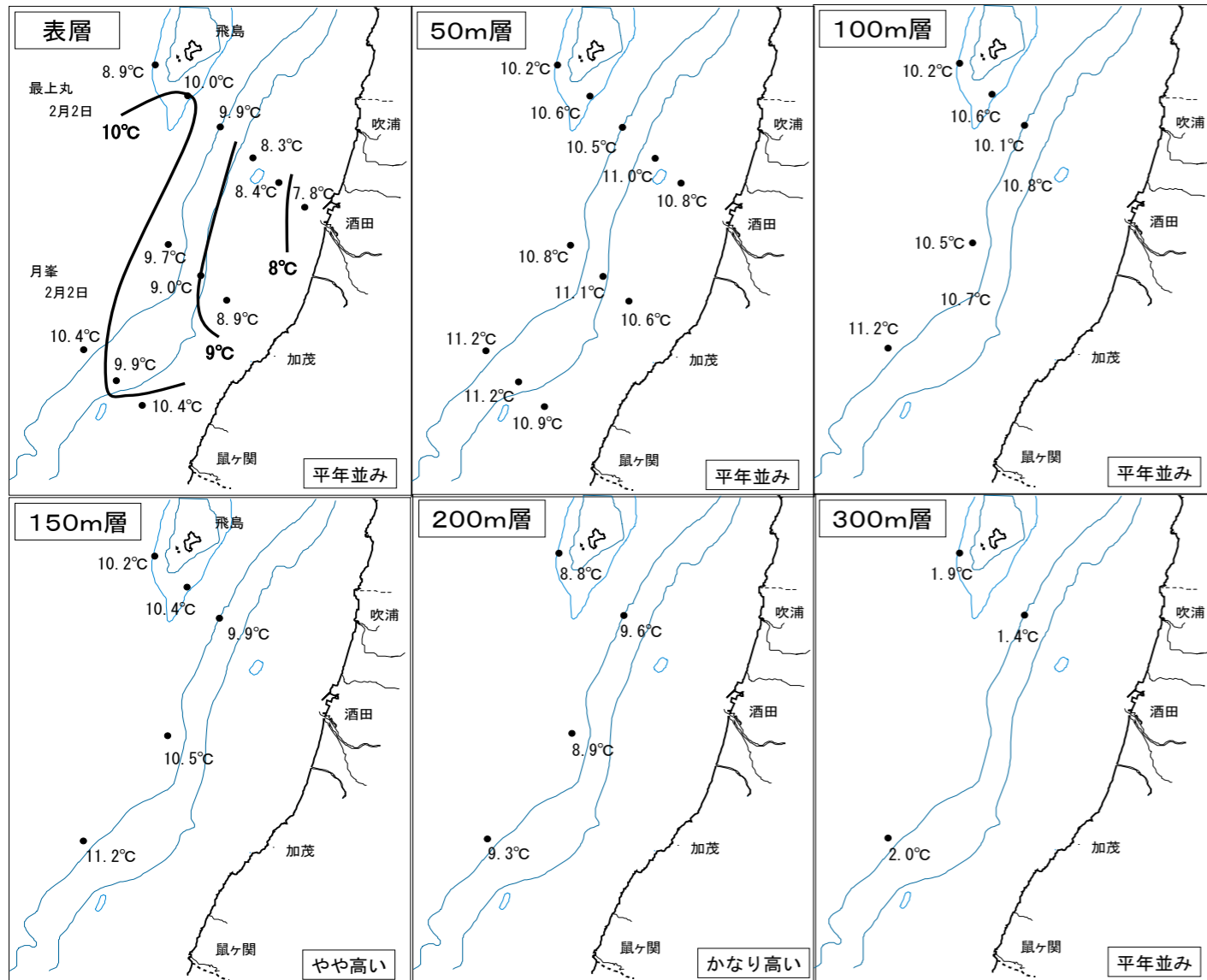
- 山形県水産試験場「最上丸」と庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、2月2日に沿岸の水溫観測を実施しました。その結果、表層～100m層および300m層は「**平年並み**」、150m層は「**やや高い**」、200m層は「**かなり高い**」でした。
- 1月の地先水溫は、鶴岡市加茂(水産試験場)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「**平年並み**」でした。
- 1月中旬のたら場観測では、海水溫の躍層が例年より深い層に形成されていたため、200m以深の水溫が高い結果になりました。1月下旬の観測では、北部は高い傾向にあるものの、全体としては平年並みの水準まで下がりました。

各層別の平均水溫(2月上旬分観測値)

単位: °C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	9.4	10.8	10.6	10.3	9.2	1.7
前年差	-0.9	-0.3	-0.4	-0.4	+2.4	+0.2
平年差	-0.2	+0.4	+0.5	+1.1	+2.6	±0.0
評価	平年並み	平年並み	平年並み	やや高い	かなり高い	平年並み

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水溫(1月)

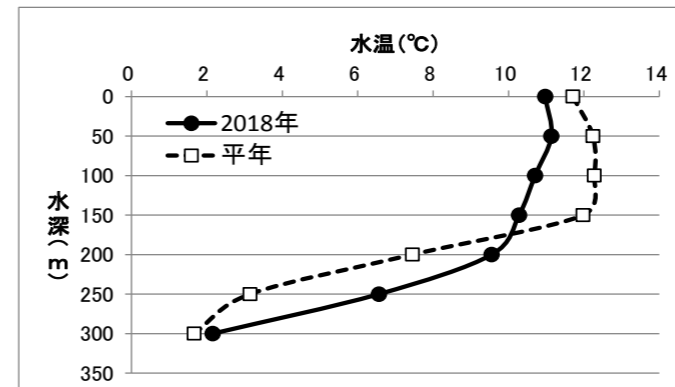
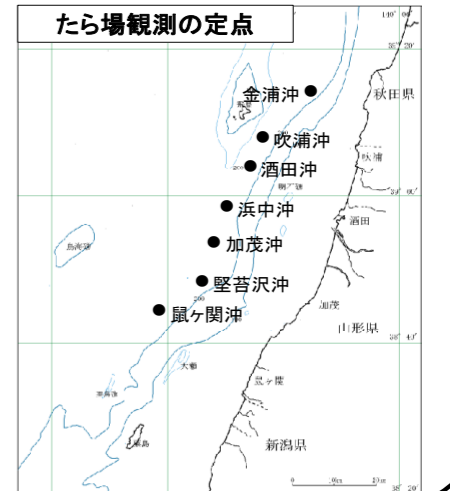
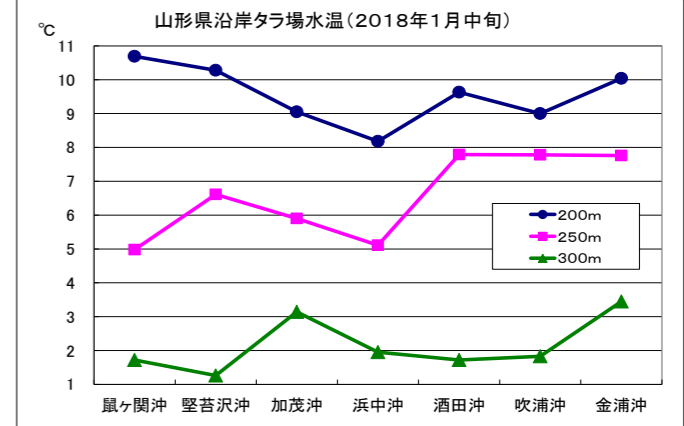
単位: °C

場所	水溫	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	8.3	+0.2	-0.2	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	10.1	-0.4	-0.3	平年並み

## 1月中旬(2018年1月17、18日)のたら場水溫

- 200m層: 鼠ヶ関沖および酒田沖で「**はなはだ高い**」、堅苔沢沖、加茂沖および金浦沖で「**かなり高い**」でした。
- 250m層: 全定点で「**はなはだ高い**」でした。
- 300m層: 加茂沖および金浦沖で「**はなはだ高い**」、吹浦沖で「**かなり高い**」、浜中沖で「**やや高い**」でした。一方、堅苔沢沖は「**かなり低い**」でした。

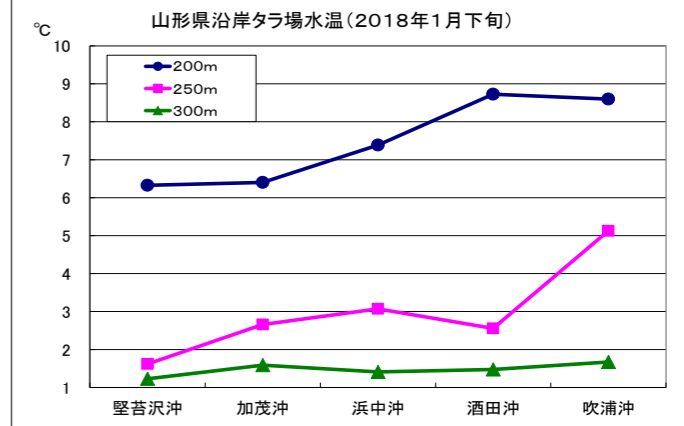
○総評: 200m～250m層で水溫が高い結果になりました。これは、上層の海水が冷気により冷やされ下層へ沈み込むことで、例年150m～250m層に形成される躍層が、より深い200m～300m層に形成されていたためと考えられます。



## 1月下旬(2018年1月22日)のたら場水溫

- 200m層: 全体的には平年並みでしたが、酒田沖で「**やや高い**」、吹浦沖で「**かなり高い**」と、北部の海水溫が高い傾向にありました。
- 250m層: 吹浦沖で「**はなはだ高い**」だった一方で、鼠ヶ関沖では「**かなり低い**」と、北部の海水溫が高い傾向にありました。
- 300m層: 「**かなり低い**」から「**平年並み**」となり、暖水はみられません。

○総評: 海水溫の高い傾向は、北部に偏っていました。



# 1月の漁況

- 延べ操業隻数は738隻で前年比84%、総漁獲量は307トンで前年比53%でした。寒気の影響により時化が多く、操業できない日が続いたことが大きな要因の一つです。
- 底びき網漁業の漁獲量は129トンで前年比74%でした。タイ類は前年を上回り、ハタハタ、スケトウダラ、ズワイガニ、アカエビおよびタコ類は前年を下回りました。
- その他の漁業では、いか一本釣漁業のスルメイカ、船凍いか釣漁業のスルメイカ、はえなわ漁業のブリ類、タイ類、マダラ、ふぐ縄漁業のトラフグ、採貝藻漁業のアワビ、サザエおよびナマコは前年を下回りました。
- 山形県における寒ダラの漁獲量は、1月下旬現在で66トン、過去20年間の平均の67%でした。
- 全漁業種類による本県の1月のハタハタ漁獲量は6.6トン、前年比14%と前年を大きく下回りました。

\* 表中の「計」は漁獲量の合計を表しています。「前年比」は平成25～29年までの漁獲量の平均値と比較した値です。  
 \* 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。

## 全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	45	147	139	7	131	46	36	187	738	100%	84%
総漁獲量	11,665	5,709	176,143	20,993	29,012	9,357	416	53,527	306,823	73%	53%
前年比	53%	80%	58%	142%	143%	140%	31%	114%	73%		
前年比	71%	56%	42%	222%	79%	63%	37%	71%	53%		

## 底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	14	45	56	18	102	235	126%	87%
タイ類	3	8,893	287	218	6,723	16,123	213%	140%
ヒラメ	9	43	97	105	1,002	1,255	179%	106%
カレイ類	307	1,140	1,498	741	3,194	6,880	131%	105%
ハタハタ	1,484	358	1,432	726	2,555	6,555	14%	14%
スケトウダラ	4	6	24	11	8	54	32%	1%
アンコウ	35	144	155	195	1,393	1,922	124%	86%
ズワイガニ	115	422	1,005	197	1,098	2,837	112%	66%
マダラ	7,337	15,127	19,811	5,702	19,744	67,721	157%	100%
アカエビ	92	310	647	149	5,107	6,306	88%	54%
タコ類	25	166	110	57	268	626	93%	51%
その他	620	3,784	1,674	832	11,576	18,486		
計	10,033	30,394	26,739	8,932	52,666	128,764	101%	74%
前年比	49%	80%	138%	143%	122%	101%		
前年比	71%	75%	80%	62%	72%	74%		

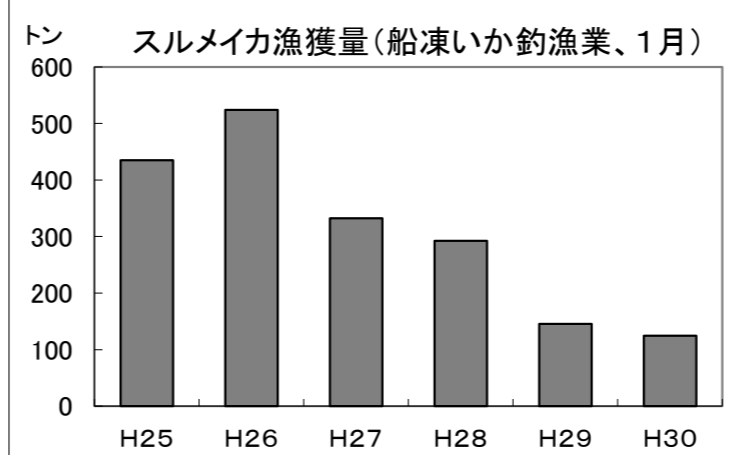
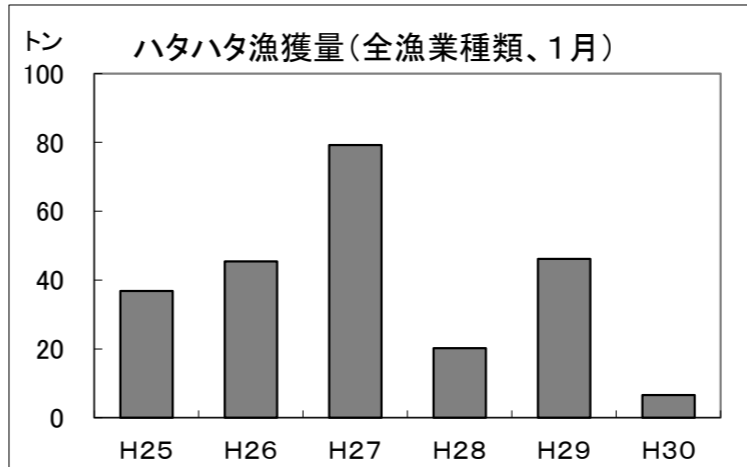
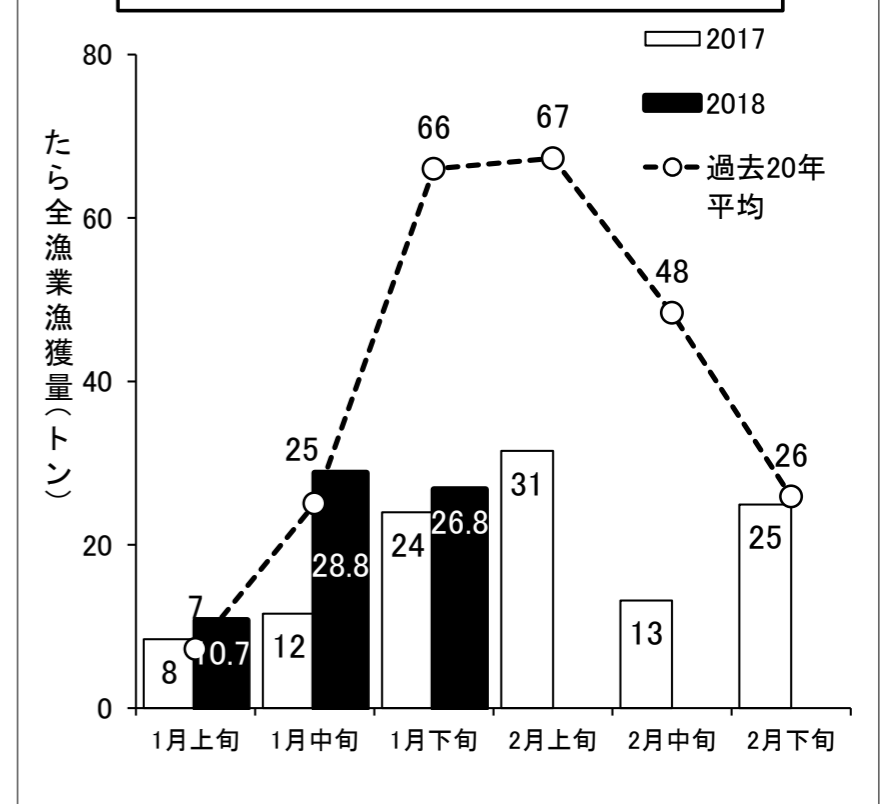
## その他の漁業

単位: 隻、kg

漁業種類	いか一本釣漁業	船凍いか釣漁業	その他のはえなわ漁業			ふぐ縄漁業	採貝藻漁業		
延べ操業隻数	56	8	76			5	243		
総漁獲量			2,807			116	2,005		
前年比			36%			64%	79%		
前年比			42%			15%	47%		
主な対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ブリ類	タイ類	マダラ	トラフグ(※)	アワビ	サザエ	ナマコ
漁獲量	21,705	124,576	16	452	345	108	451	691	421
前年比	18%	86%	1%	25%	17%	64%	47%	93%	65%
前年比	76%	36%	2%	30%	13%	14%	46%	56%	25%

※ 平成28年以前は、トラフグ以外のふぐ類が含まれています。

## 寒ダラ漁獲状況(1月下旬まで)



## 最上丸の調査予定(2月中旬～3月上旬)

- ・海洋観測を行います。
- ・底びき網調査(沖合礁、ハタハタ)を行います。
- ・サケの稚魚調査を行います。

みなさま、調査への御協力。御理解よろしくお願ひします。

